

**第8期
平成30年1月期
定時株主総会**

**平成30年4月26日
丸善CHIホールディングス株式会社**

事業報告

- ◆市場環境
- ◆事業の計画及びその成果
- ◆事業別販売の状況

国内情勢

- 企業収益や雇用・所得環境の改善
- 景気拡張期間が戦後2番目の長さに
- 個人消費の伸び悩み、人件費コスト上昇

世界情勢

- 米国トランプ政権の発足、北朝鮮情勢の緊迫化など、不安定要素

市場の縮小

- 出版物の販売額は引き続き減少
- 特に雑誌は2桁減
- 書店数は10年間で26.7%減

電子書籍市場

- 前年比16.0%の伸び
- 無料試し読み、違法海賊版の影響を受けるコミック
- 雑誌は定額制読み放題サイトの会員数減

事業報告

- ◆市場環境
- ◆事業の計画及びその成果
- ◆事業別販売の状況

当社グループについて

丸善CHIホールディングス株式会社

店舗・ネット
販売事業

(株)丸善
ジュンク堂
書店

出版事業

丸善出版(株)

文教市場
販売事業

図書館総合
研究所

図書館サポート
事業

(株)図書館流通センター

岩崎書店

丸善雄松堂(株)

その他事業

図書館流通

明日香

グローバルソリュー
ションサービス

第一鋼鉄工業所

編集工学研究所

価値観

知は社会の礎である

ビジョン

**知の生成と流通に革新をもたらす
企業集団となる**

I. 書店収益力の改善



II. 学びと地域活性化による市場開拓



III. 書籍を活用したコンテンツ創造



平成30年1月期業績：売上高

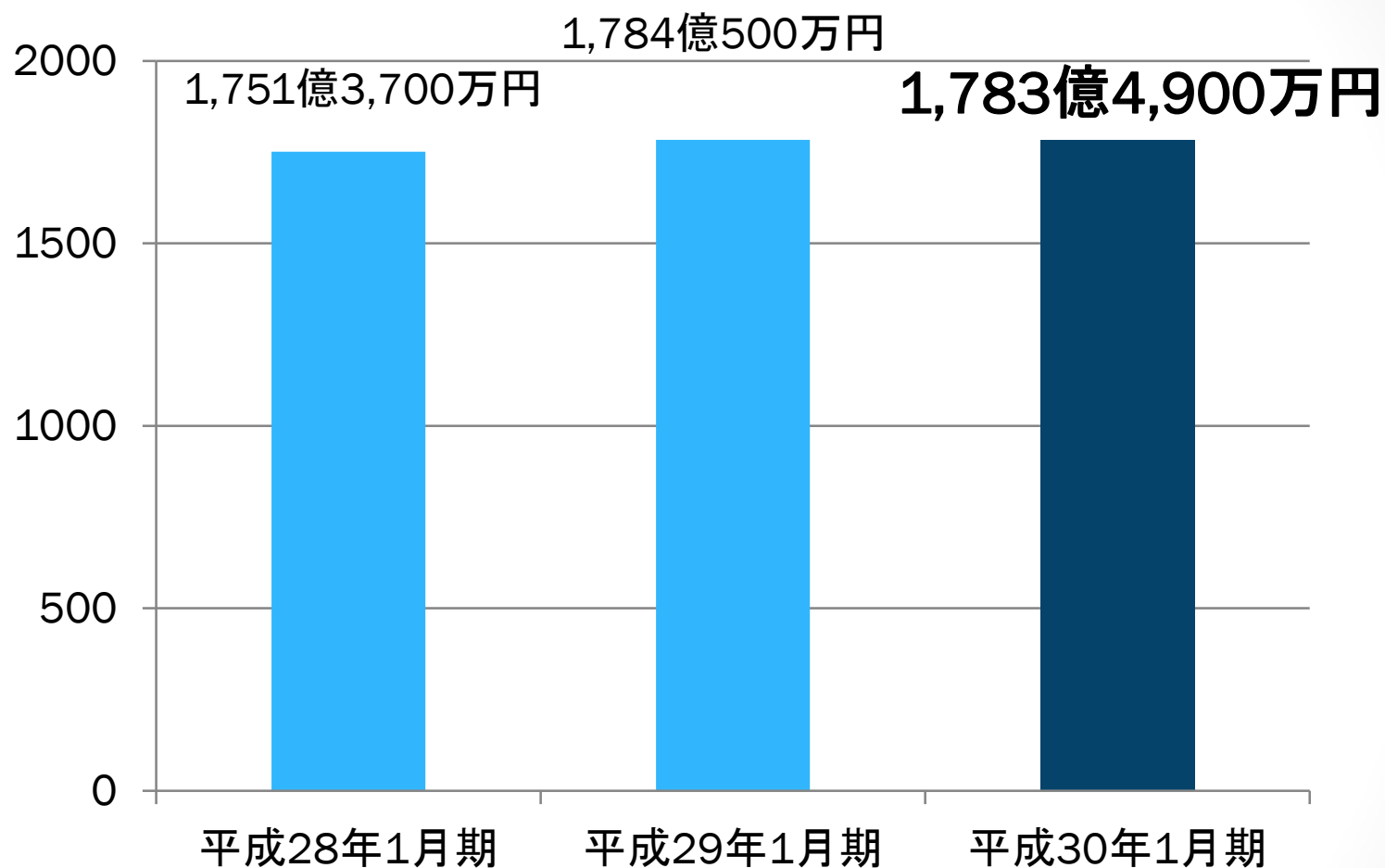
- 図書館サポート事業は増収
- 店舗・ネット販売事業など、書籍販売関連事業では厳しい市場環境の影響を受ける



売上高 1,783億4,900万円

対前年▲0.03%

平成30年1月期業績：売上高



対前年 ▲5,600万円 (▲0.03%)

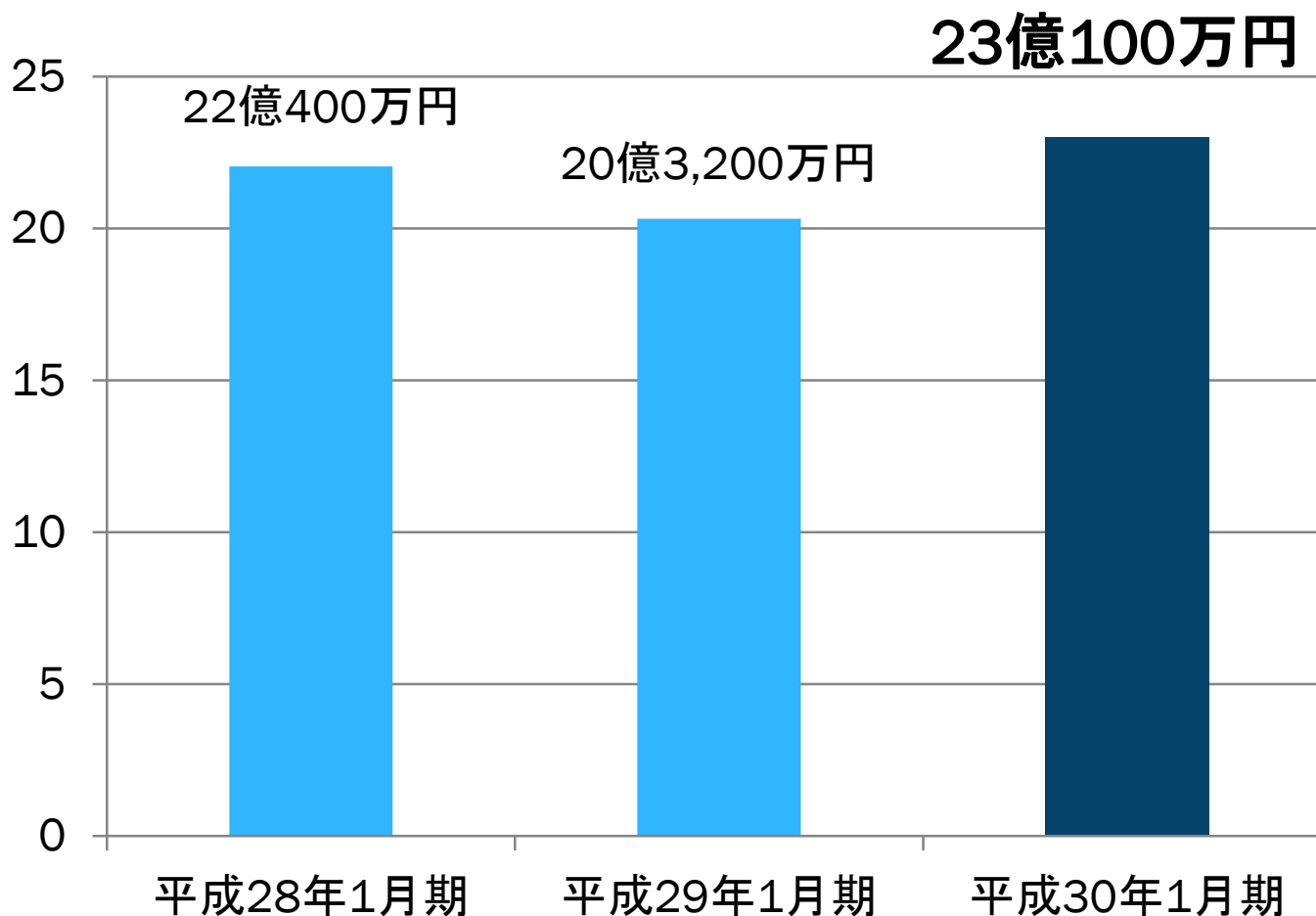
- 文教市場販売事業、店舗・ネット販売事業で原価・販管費削減



営業利益 23億100万円

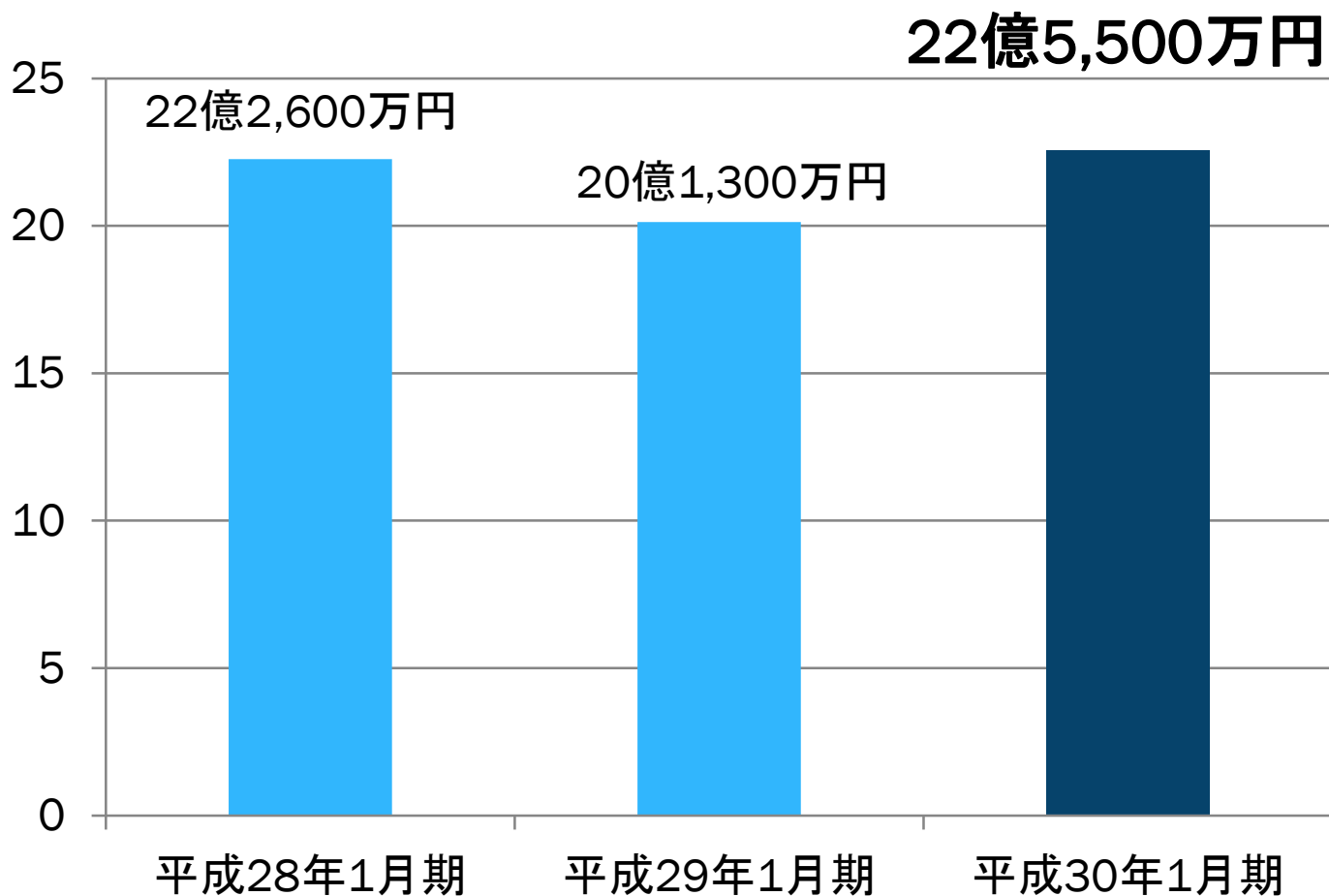
対前年+13.2%

平成30年1月期業績：営業利益



対前年 +2億6,800万円 (+13.2%)


平成30年1月期業績：經常利益



対前年 +2億4,100万円 (+12.0%)

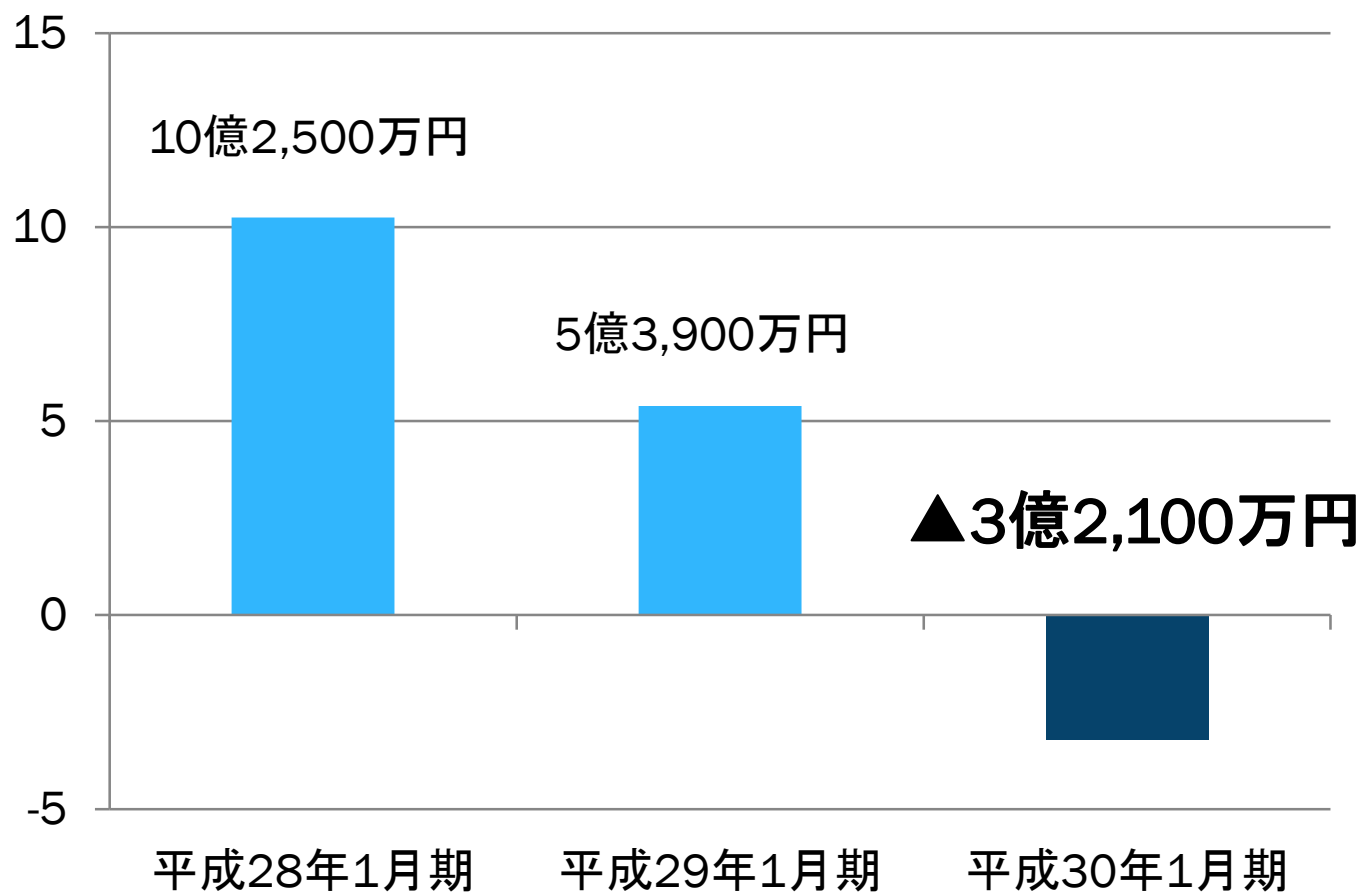
- ・ 店舗・ネット販売事業で約18億の減損損失発生

→ 近年の撤退費用発生実績等から資産除去債務の見積りの変更を行ったことなどによる



**親会社株主に帰属する当期純損失
3億2,100万円**

平成30年1月期業績：親会社株主に帰属する当期純利益



対前年 ▲8億6,000万円

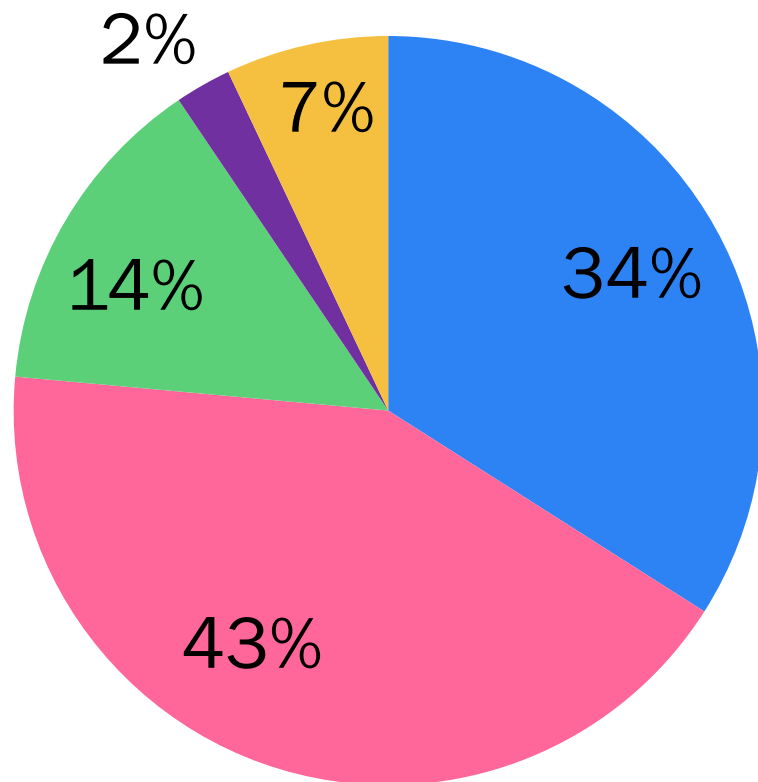
平成30年1月期業績：サマリー

	平成30年1月期	対前年増減
売上高	1,783億4,900万円	▲5,600万円
営業利益	23億100万円	+2億6,800万円
経常利益	22億5,500万円	+2億4,100万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3億2,100万円	▲8億6,000万円

事業報告

- ◆市場環境
- ◆事業の計画及びその成果
- ◆事業別の状況

当社グループの事業分野



- 文教市場販売事業
- 店舗・ネット販売事業
- 図書館サポート事業
- 出版事業
- その他事業

売上構成比

(平成30年1月期実績ベース)

(株) 図書館流通センター 丸善雄松堂(株)

事業内容

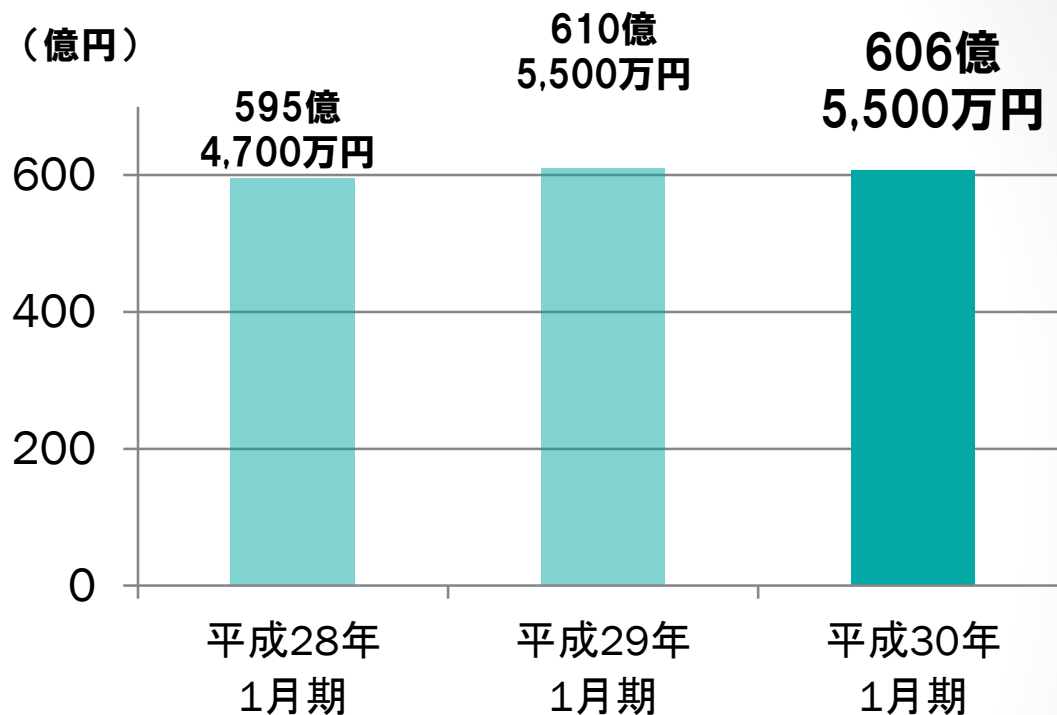
- 公共図書館向け販売事業
- 大学・研究機関向け販売事業
- 研究者向け販売事業



売上高

606億5,500万円

(対前年▲4億円)



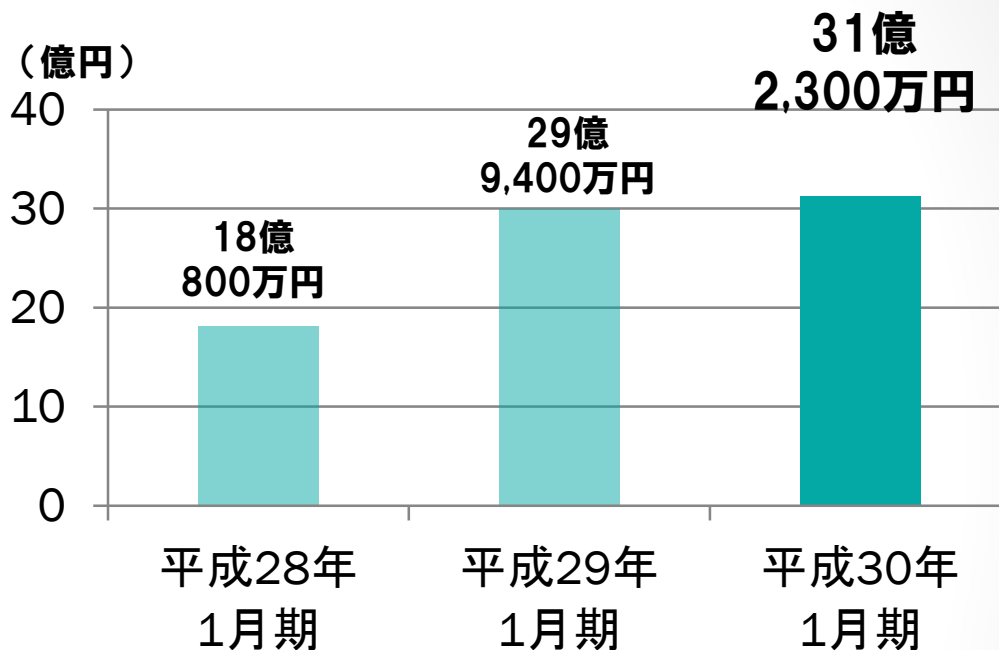
当期の概況(売上高)

- 電子書籍関連や図書館業務機器は伸長
- 主力の書籍販売は厳しく推移

営業利益

31億2,300万円

(対前年+1億2,900万円)



当期の概況(営業利益)

- 大学向け教育研究設備事業で原価率改善
- 販管費の圧縮

減 収 増 益

(株)丸善ジュンク堂書店

事業内容

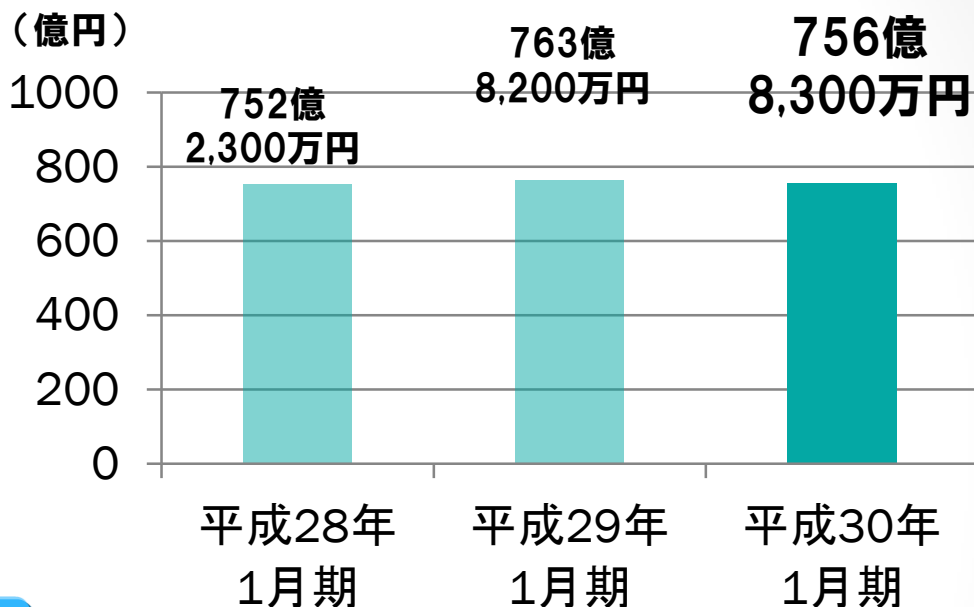
- 書籍・雑誌／文具・雑貨販売

平成30年1月期末店舗数：
93店



売上高

756億8,300万円
(対前年▲6億9,900万円)



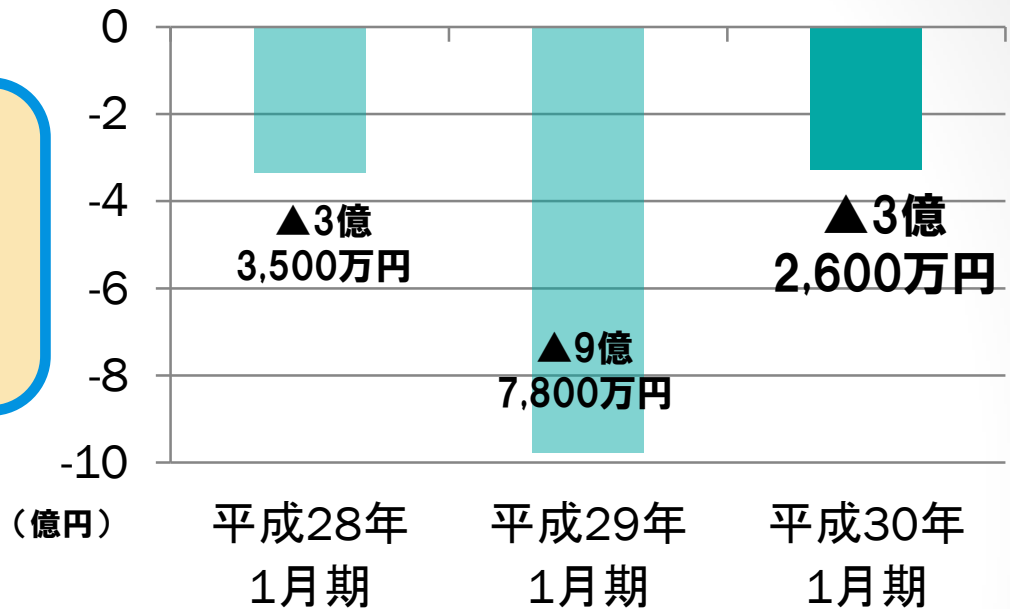
当期の概況(売上高)

- 出店2店舗、移転開店2店舗、閉店2店舗
- 市場環境の影響で既存店を中心に厳しく推移

営業損失

3億2,600万円

(対前年+6億5,100万円)



当期の概況(営業損失)

- 効率的な人員配置や出店費用の抑制による販管費削減効果で、前年比6.5億円の改善となったが利益計上には至らず

減 収 増 益

(株) 図書館流通センター(公共図書館)
丸善雄松堂(株)(大学図書館)

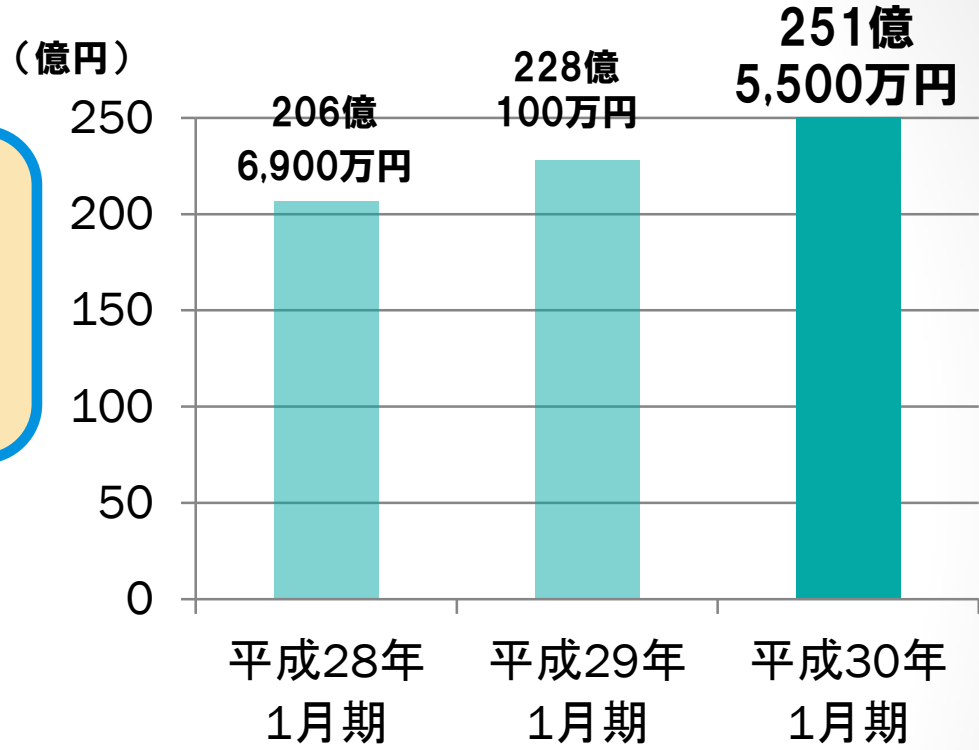
事業内容

- 業務受託(カウンター業務
目録作成、蔵書点検等)
- 運營業務(指定管理者制度、
PFI(民間資金等活用事業))



図書館サポート事業

売上高
251億5,500万円
(対前年+23億5,300万円)



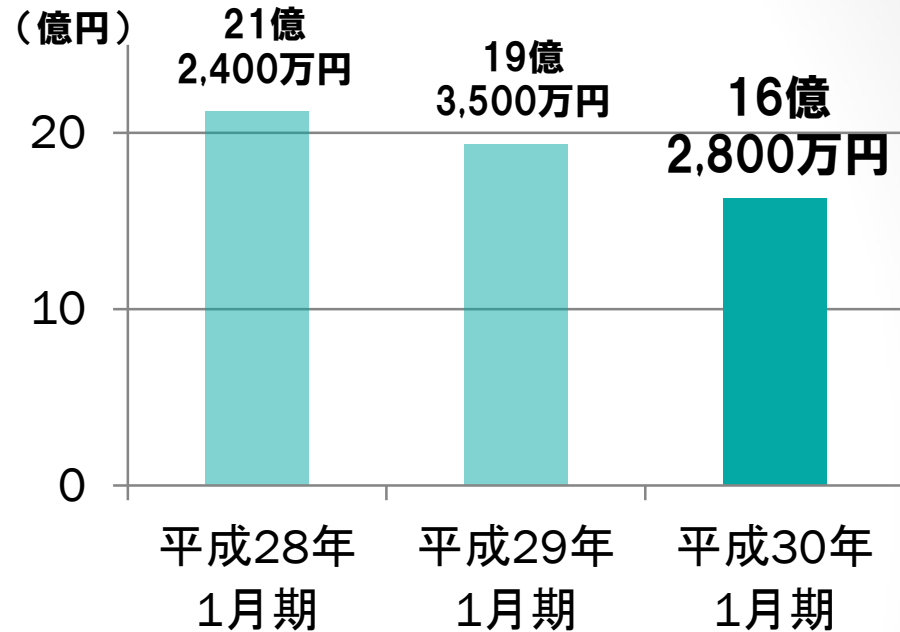
当期の概況(売上高)

● 平成30年1月末時点の図書館受託館数は1,365館(期初から159館増加)

営業利益

16億2,800万円

(対前年▲3億600万円)



当期の概況(営業利益)

- 新規受託館の準備費用の発生
- 人件費コスト増加

増 収 減 益

丸善出版(株)

(株)岩崎書店

(株)図書館流通センター子会社

事業内容

- 大学テキスト等の専門書
- 絵本・童話等の児童書

 **MARUZEN**
PUBLISHING

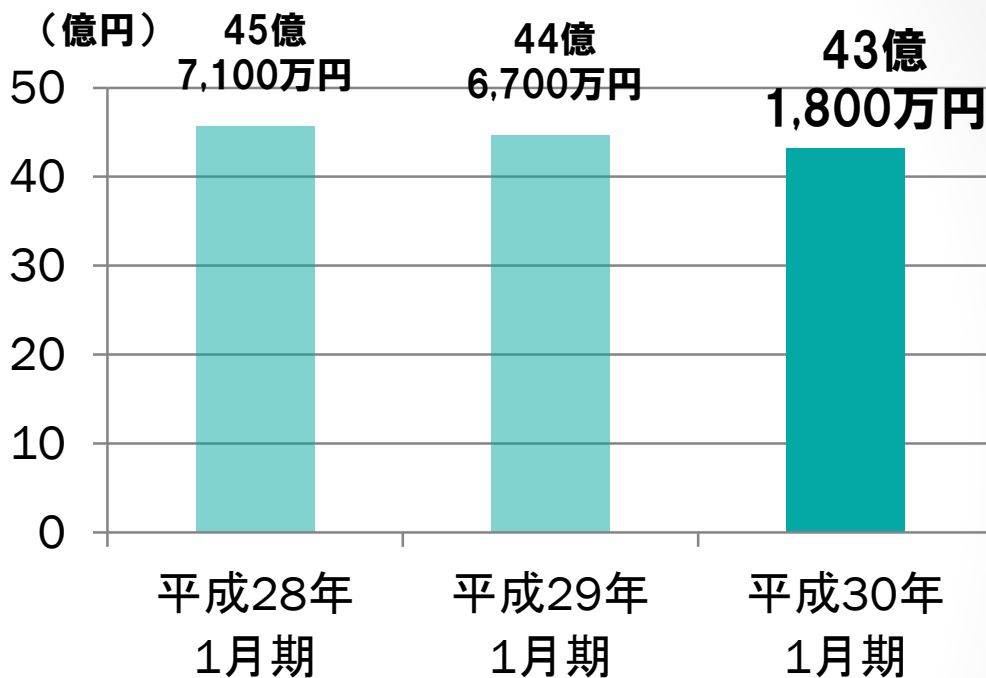


 岩崎書店

売上高

43億1,800万円

(対前年▲1億4,800万円)



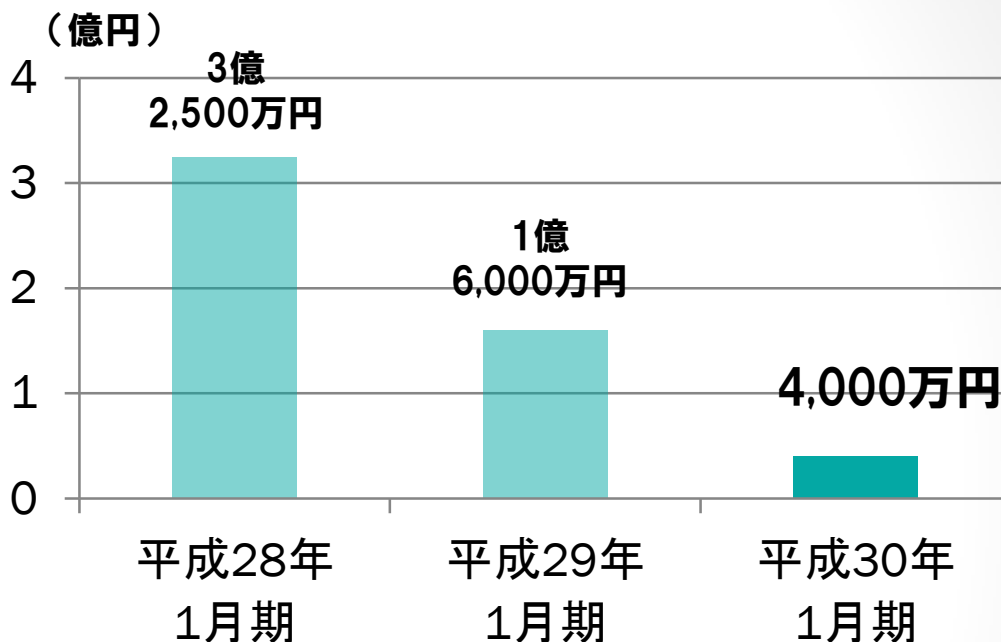
当期の概況

- 当期新刊245点(前年から52点減)
- 映像メディア商品の取引減少

営業利益

4,000万円

(対前年▲1億1,900万円)



当期の概況(営業利益)

- 児童書分野では新刊タイトルの厳選により増益
- 専門書分野で新刊減の影響や売上原価の増加

減 収 減 益

その他事業

グローバルソリューションサービス(株)

- Apple製品他スマートフォン・PC等修理サービス

(株)明日香

- 総合保育サービス / 保育園・託児所運營業務請負

丸善雄松堂(株) ショップ・システム・プロデュース事業部

- 書店、中古書店ほか店舗向け什器・内装・デザイン

(株)編集工学研究所

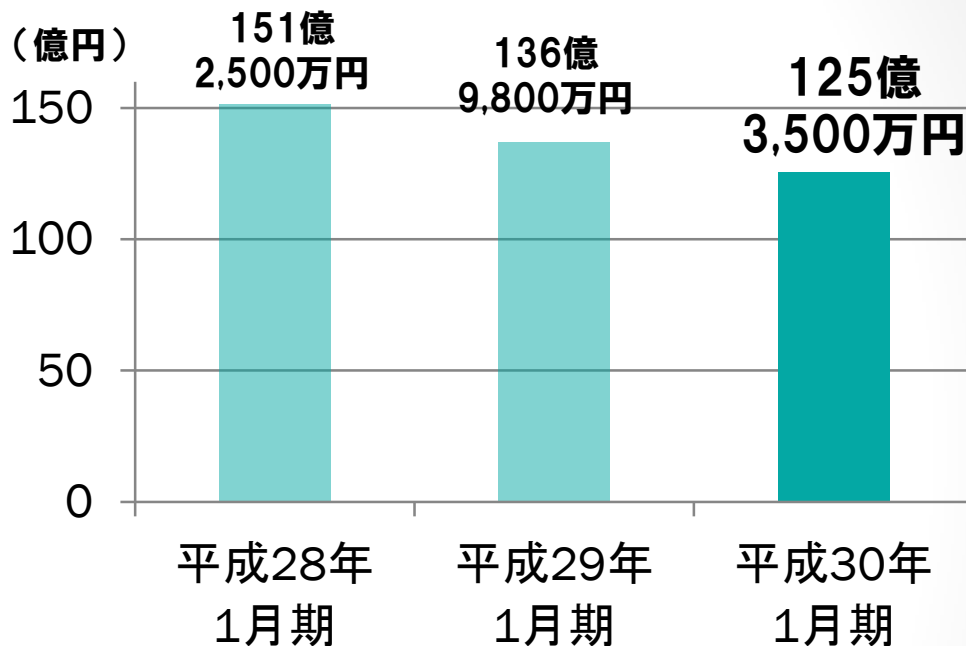
- 編集工学を応用したコンサルティング、教育・研修事業

その他事業

売上高

125億3,500万円

(対前年▲11億6,200万円)



当期の概況(売上高)

- 総合保育サービスの(株)明日香が順調
- 店舗内装業は顧客の出店抑制により減収

その他事業

営業利益

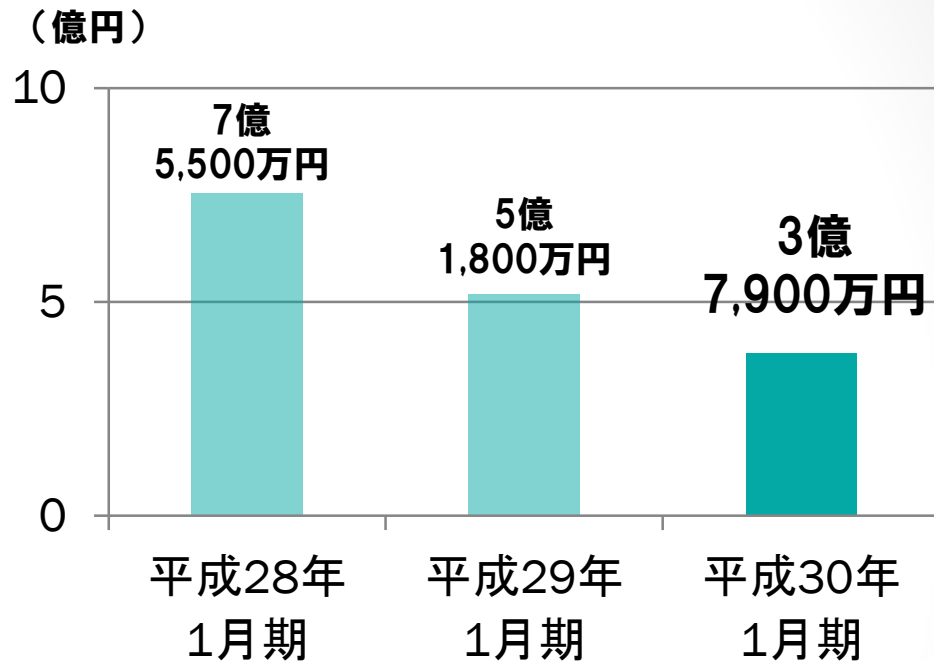
3億7,900万円

(対前年▲1億3,800万円)

当期の概況(営業利益)

- 店舗内装業の減収が大きく影響

減 収 減 益



**その他の事業報告につきましては
お手許の招集ご通知の添付書類
2ページ から 25ページ を
ご高覧くださいますよう
お願い申し上げます**

**なお、対処すべき課題については
後ほど当期の取り組みとともに
ご説明いたします**

連結計算書類

- ◆ 連結 貸借対照表
- ◆ 連結 損益計算書

連結貸借対照表（平成30年1月31日現在）

			（百万円）
流動資産	98,666	流動負債	71,808
現金及び預金	22,679	支払手形及び買掛金	20,616
受取手形及び売掛金	17,004	短期借入金	29,650
商品及び製品	43,194	固定負債	27,907
固定資産	36,230	長期借入金	6,386
有形固定資産	20,676	負債合計	99,716
建物及び構築物	7,351	株主資本	34,444
土地	10,962	資本金	3,000
無形固定資産	1,392	資本剰余金	14,198
ソフトウェア	695	利益剰余金	17,247
投資その他の資産	14,161	その他包括利益累計	▲458
繰延資産	106	非支配株主持分	1,301
		純資産合計	35,287
資産合計	135,003	負債純資産合計	135,003

連結損益計算書（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

（百万円）	平成29年1月期	平成30年1月期	増減
売上高	178,405	178,349	▲ 56
売上原価	137,987	138,521	534
売上総利益	40,418	39,827	▲ 591
販売費及び一般管理費	38,385	37,525	▲ 860
営業利益	2,032	2,301	268
経常利益	2,013	2,255	241
特別利益	354	50	▲ 304
特別損失	942	2,261	1,319
税金等調整前当期純利益	1,426	44	▲ 1,382
親会社株主に帰属する 当期純利益	539	▲321	▲ 860

**その他の計算書類の詳細に
つきましては**

お手許の招集ご通知の添付書類

26ページ から 47ページ を

ご高覧くださいますよう

お願い申し上げます

対処すべき課題

◆市場動向

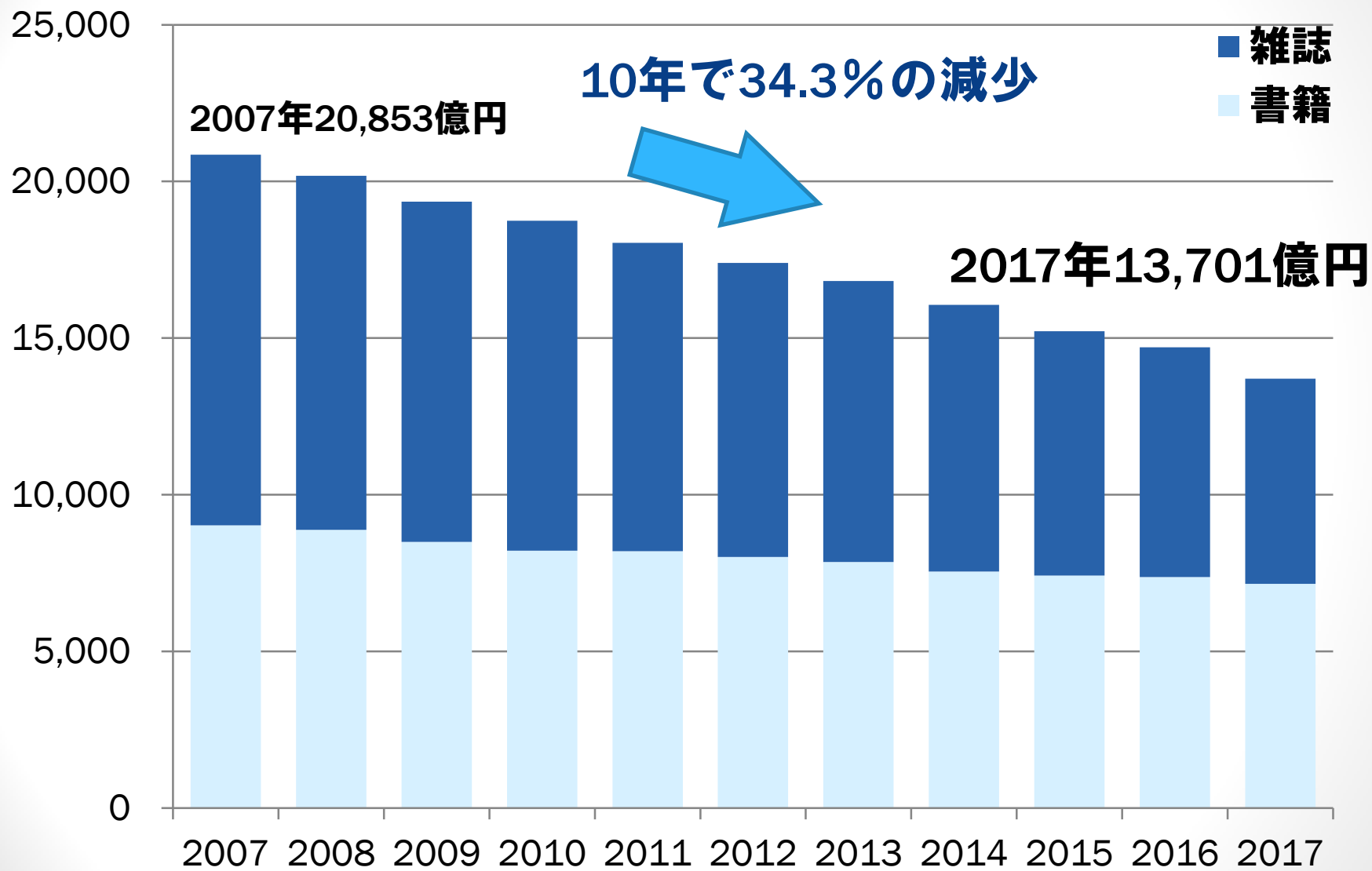
◆これからの取り組み

◆平成31年1月期の計画

国内経済

- 政府による経済政策や金融政策の効果により、引き続き緩やかな拡大が続く
- 個人消費の伸び悩みや人手不足の常態化・深刻化
- 国際関係による経済環境への影響など不透明な状況も継続

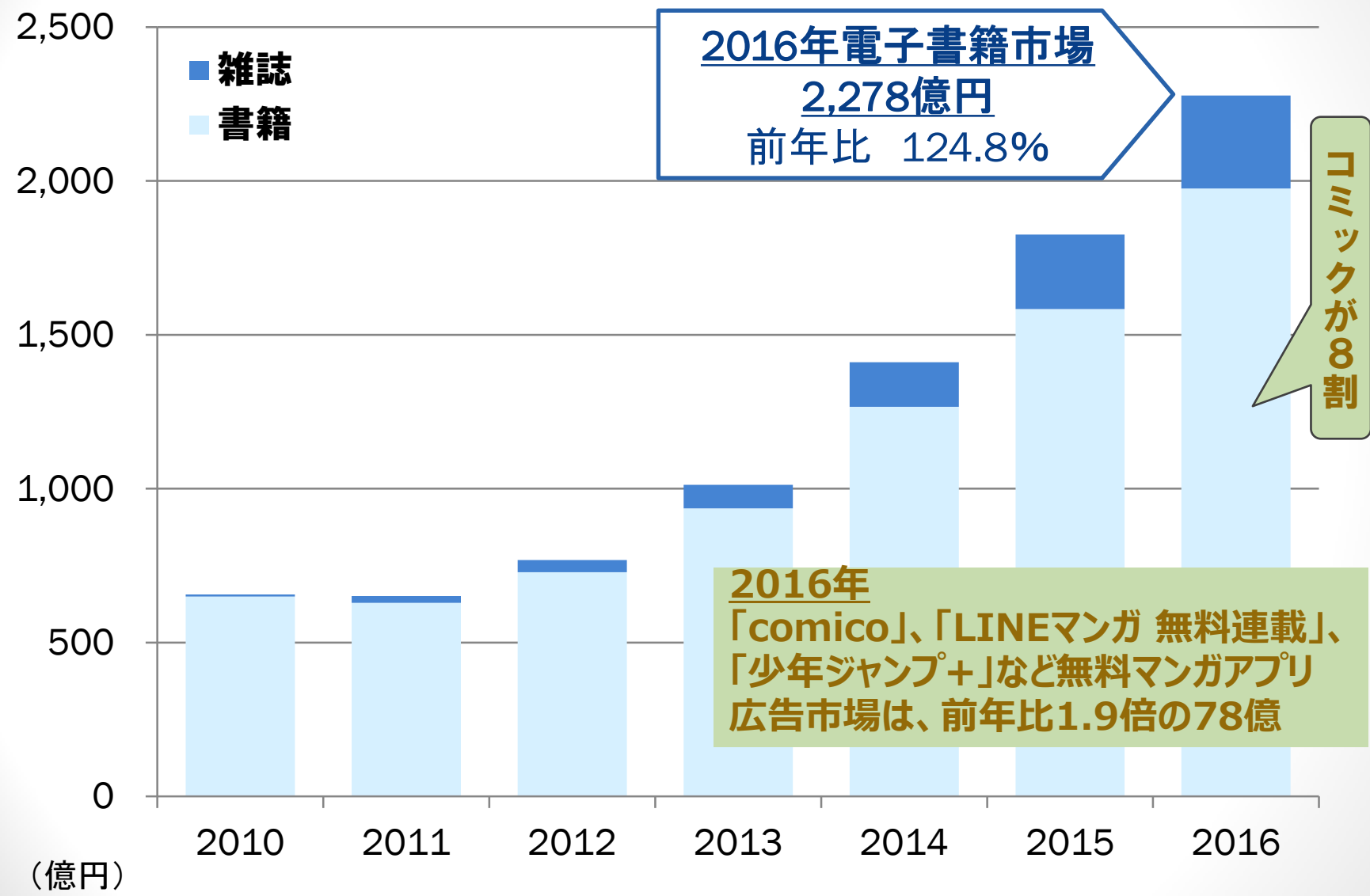
市場動向：出版流通市場（販売額）



(億円)

出典：公益社団法人全国出版協会

市場動向：出版流通市場（電子書籍）



<出典：インプレス総合研究所、2017年7月>

対処すべき課題

- ◆市場動向
- ◆これからの取り組み
- ◆平成31年1月期の計画

I. 書籍流通構造改革の推進

II. 書店収益力の向上

III. “人生100年時代”への学び事業の創造

I. 書籍流通構造改革の推進

II. 書店収益力の向上

III. “人生100年時代”への学び事業の創造

I. 書籍流通構造改革の推進

継続する出版流通市場の縮小

【書籍雑誌販売額】

- 市場の縮小が継続
- 10年で34%減
ピーク時の1996年から48%減

【書店数】

- 12,500店（10年で25%減）
- 全国自治体の22.1%で書店がゼロ

I. 書籍流通構造改革の推進

コンテンツ流通モデルの多様化

【2017年 コミックでは紙と電子の売上が逆転】

- 電子コミック 1,711億円 対前17.2%増
紙のコミック 1,666億円 対前14.4%減
- 無料で読めるマンガアプリは前年比1.9倍

【スマホの電子雑誌定額モデル】

- 通信事業者の顧客囲い込みのための雑誌定額読み放題モデルの拡大
- dマガジン（ドコモ）、楽天マガジンなど

I. 書籍流通構造改革の推進

継続する出版
流通市場の縮小

コンテンツ流通
モデルの多様化

読者・生活者のニーズによりマッチした
書籍流通モデルの構築がますます求められる

書籍流通構造改革

書籍流通構造改革

- ① AIやデータ活用によりフレキシブル流通を構築
- ② 電子図書館・電子教材システムの強化
- ③ IT活用による業務効率化

※ AI：人工知能

I. 書籍流通構造改革の推進

① AIやデータ活用によりフレキシブルな流通構築

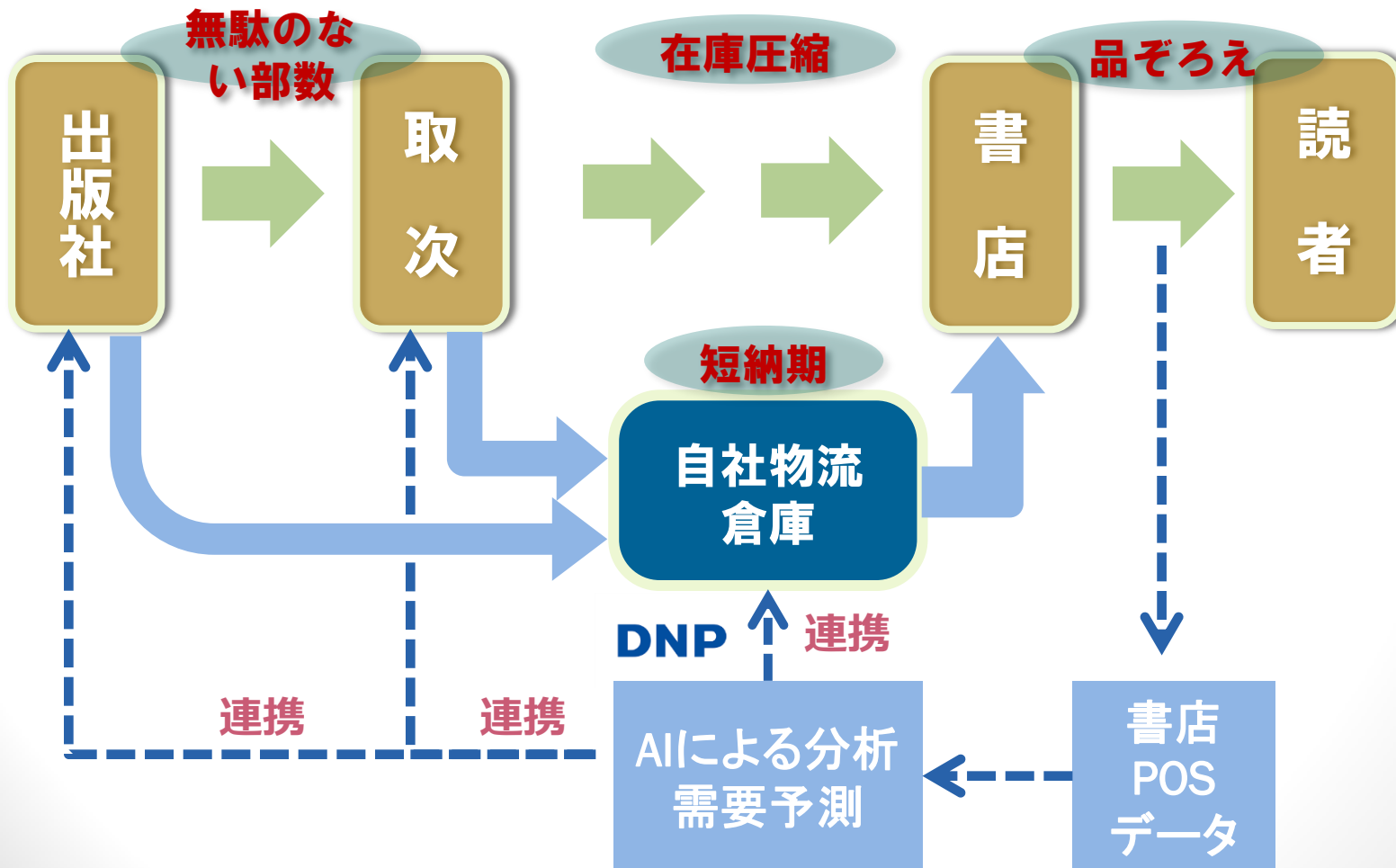
大日本印刷(DNP)のAIを用いた
分析力で需要を予測



自社流通倉庫を活用した
フレキシブルな流通網を構築

I. 書籍流通構造改革の推進

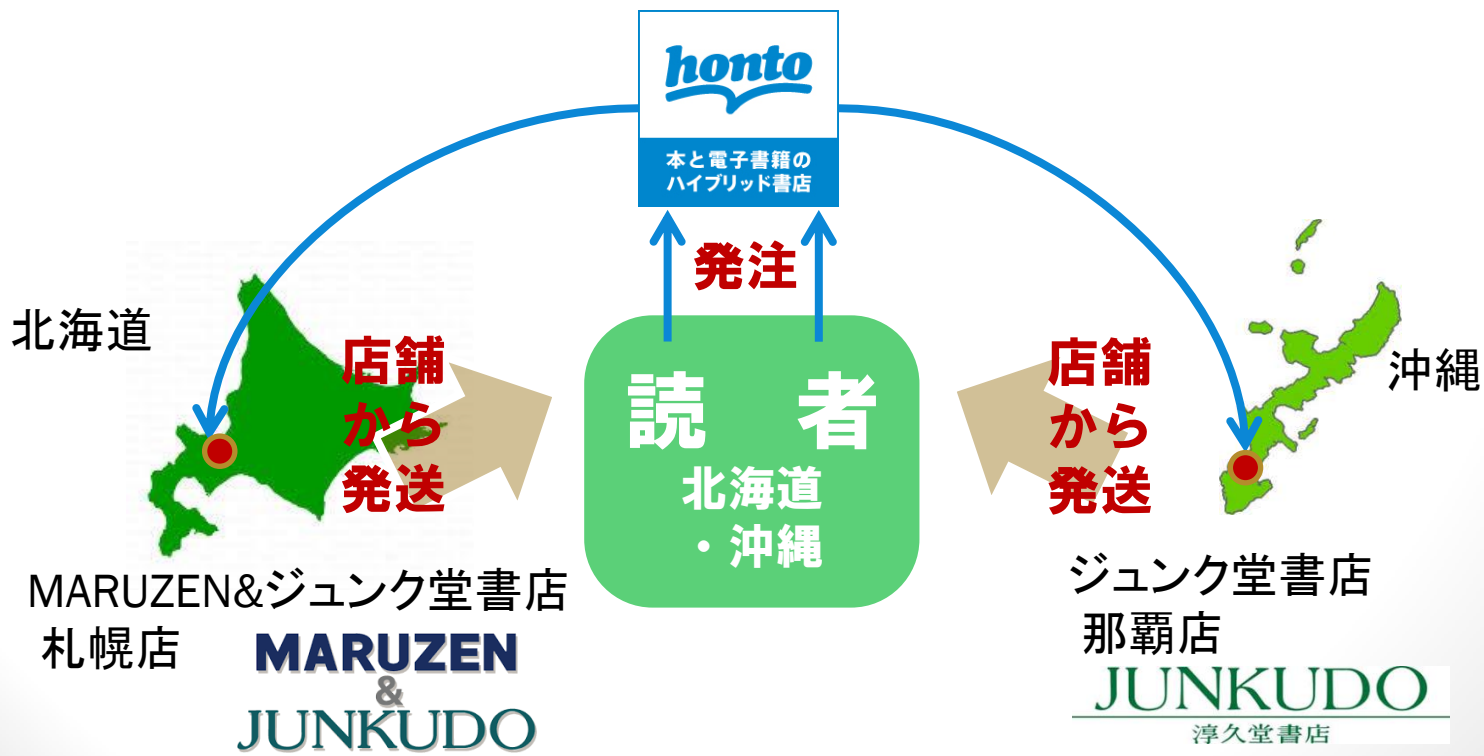
① AIやデータ活用によりフレキシブルな流通構築



I. 書籍流通構造改革の推進

①AIやデータ活用によりフレキシブルな流通構築

ハイブリッド型ネット書店hontoとの連携では、北海道・沖縄からのネット注文に対して、丸善ジュンク堂書店の在庫を活用し、遠隔地でも短納期を実現



I. 書籍流通構造改革の推進

②電子図書館・電子教材システムの強化

大学向け、公共図書館向けにおいても、ハイブリッド型のコンテンツ提供を強化。

I. 書籍流通構造改革の推進

②電子図書館・電子教材システムの強化

Ⓜ MARUZEN-YUSHODO

大学・研究者
向け
プラットフォーム



紙の本から電子書籍貸出や電子教材まで一貫したサービスを提供

株式会社
TRC図書館流通センター

公共図書館
向け
電子図書館

The advertisement features two service boxes. The left box is for 'TRC-DL' and includes the text '“本”だけじゃない! 動画や音声も!' and '動画 リッチ 音声'. It lists '電子書籍(フィックス)' and '電子書籍(リフロー)' with book covers and icons. Below are the conditions: '・無期限型' and '※一部有期限あり 同時1~3ライセンス版あり'. The right box is for 'LibrariE' and includes the text 'ニーズの高い 話題の本が充実!' and 'ライブラリエ'. It lists '電子書籍(フィックス)' and '電子書籍(リフロー)' with book covers and icons. Below are the conditions: '・ワンコピー・ワンユーザー型(2年間もしくは貸出52回まで)' and '※貸した後、程度評全型に移動できるコンテンツあり オプションによりワンコピー・マルチユーザー型導入可能'. A large blue 'X' is placed between the two boxes. At the bottom, it says '多彩なコンテンツを提供します'.

図書館業務と連携した利便性に加え、閲覧可能タイトル数を拡大

I. 書籍流通構造改革の推進

③IT活用による業務効率化

ITや業務分析の手法を用いた業務効率の見直しにより、コスト圧縮を推進。

I. 書籍流通構造改革の推進

③IT活用による業務効率化

株式会社 TRC 図書館流通センター

- ・ 図書館業務の適正人員配置による人件費UPへの対応

④ MARUZEN-YUSHODO

- ・ 流通倉庫業務の工数削減・効率化

MARUZEN & JUNKUDO

- ・ 店員へのタブレット配布
- ・ 取次とのデータ連携を活用したバックヤード業務の効率化

I. 書籍流通構造改革の推進

II. 書店収益力の向上

III. “人生100年時代”への学び事業の創造

Ⅱ. 書店収益力の向上

既存店売上の厳しさが継続

【書籍雑誌販売額】

- 市場全体の書籍雑誌2017年販売額は前年比7%減
- 当社既存店売上は対前4.1%減

【店舗・ネット販売事業】

- 前年から約6.5億円の改善となったが、利益計上には至らず

Ⅱ. 書店収益力の向上

出版販売市場
の縮小継続

持続的な収益
モデルの構築

右肩下がりの市場においても、収益を
確保できる事業構造への転換

書店収益力の向上

書店収益力の向上

- ①ハイブリッド戦略・ポイント戦略による来店誘因
- ②店舗複合化の推進・スクラップ&ビルドの継続
- ③データ分析に基づいた品ぞろえ強化

Ⅱ. 書店収益力の向上

①ハイブリッド戦略・ポイント戦略による来店誘因



他のポイントサービスとの共通ポイントサービスによる店舗への誘客

- dポイント、Ponta との共通ポイントをスタート
- 国内最大級の会員を擁する2社とのポイント連携で、店舗への来店・買上げ顧客をUP



Ⅱ. 書店収益力の向上

②店舗複合化の推進・スクラップ&ビルドの継続

転貸や業務委託などで、他業種の導入

カフェ＋文具、眼鏡、児童書と知育
関連業態との連携検討

書店専門店への文具売場導入

小規模文具売場を効率的に
運営（パッケージ化・自動
発注）



丸善池袋店

商圈環境の変化に対応したスクラップ &ビルドを継続

Ⅱ. 書店収益力の向上

③データ分析に基づいた品ぞろえ強化

各店売れ筋上位タイトルの共有

- ・ 不足する店舗については本部から指示・送品

タイトル別売れ行き情報の共有

- ・ 売上上位タイトルが不稼働な店舗に対して、展示強化などを指示→売り切る体質

I. 書籍流通構造改革の推進

II. 書店収益力の向上

III. “人生100年時代”への学び事業の創造

Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

これまで以上の長寿高齢化社会の到来が予想される

健康でより長生きに

社会保障は限界へ

AI・急速な技術革新

より長い人生を、自らが豊かに生き抜く力が必要に

学びの
場作り

新しいアイデアや知識への欲求が促進される環境

探究的
学習

未知な領域や複雑な問題に立ち向かうための、学びの方法

生涯学習
支援

急速な技術革新に対応して、何度も学び直せる機会

Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

自らが豊かに生き抜く力が必要に

【国の政策においても】

- 政府の進める“人生100年戦略”
～成人の学び直しニーズが高まる
- 将来のAI社会を見通し学習指導要領を改訂
～探究的学習を強化

【大学の役割の変化】

- 大学入試改革、高大接続など、求められる
教育の質的变化

Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

長寿社会で学びの
重要性が高まる

探究的に自ら学ぶ
姿勢が重要に

将来の社会の変化を見据え、必要とされる
学びのための環境や方法を提供

“人生100年時代”に
必要となる学び事業の創造

Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

“人生100年時代”に 必要となる学び事業の創造

- ① 企業や地域における学びの場作り
- ② 探求的学習としての
《図書館を使った調べる学習コンクール》
- ③ 生涯学習への取り組み・事業化

Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

① 企業や地域における学びの場作り

企業内ライブラリーなど 学びのための、企画や場づくり事業を拡大

本を用いた企画を 全国の書店・図書館で展開(「科学道100冊」など)

学習センターと図書館を連携して運営受託 (石川県野々市市の「学びの杜ののいち カレード」など)

Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

②探求的学習としての 《図書館を使った調べる学習コンクール》

学習指導要領の改訂

「探求的学習」を強化



図書館を使った調べる学習コンクール

- ・自ら課題を見つけ、探究する学びの楽しさを、財団を通じて広め、これまで21回開催。
- ・単なる知識、技能習得ではない、学びの方法のとして推進



Ⅲ. “人生100年時代” に必要となる学び事業の創造

③生涯学習への取り組み・事業化

大学公開講座支援の セカンドアカデミー(株) を子会社化

大学公開講座のセカンドアカデミー
SecondAcademy

- 明治大学、早稲田大学など50大学以上の公開講座管理システムを納入
- 生涯学習・リカレント教育の分野への進出の足掛かりとし、今後事業拡大



対処すべき課題

- ◆市場動向
- ◆これからの取り組み
- ◆平成31年1月期の計画

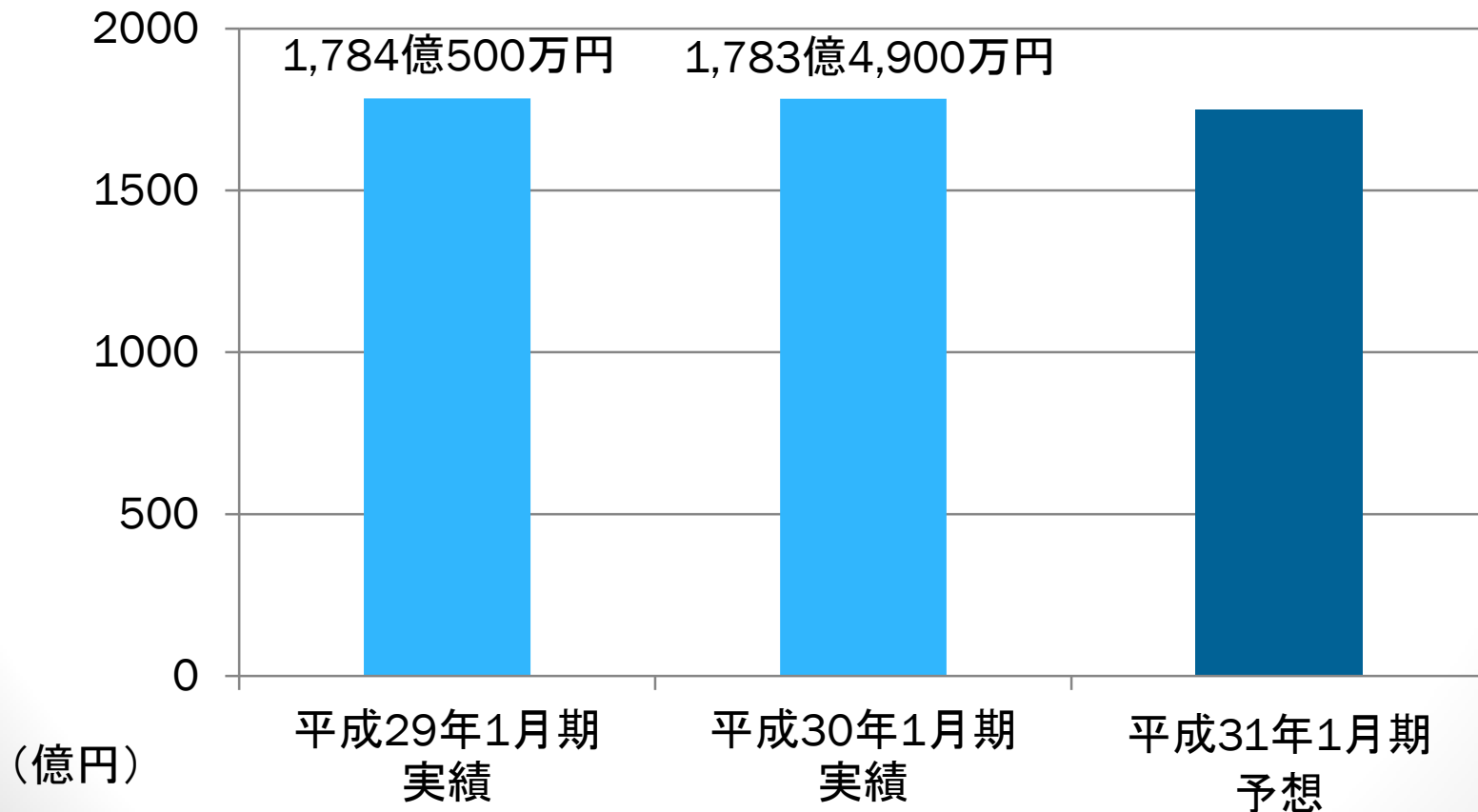
I. 書籍流通構造改革の推進

II. 書店収益力の向上

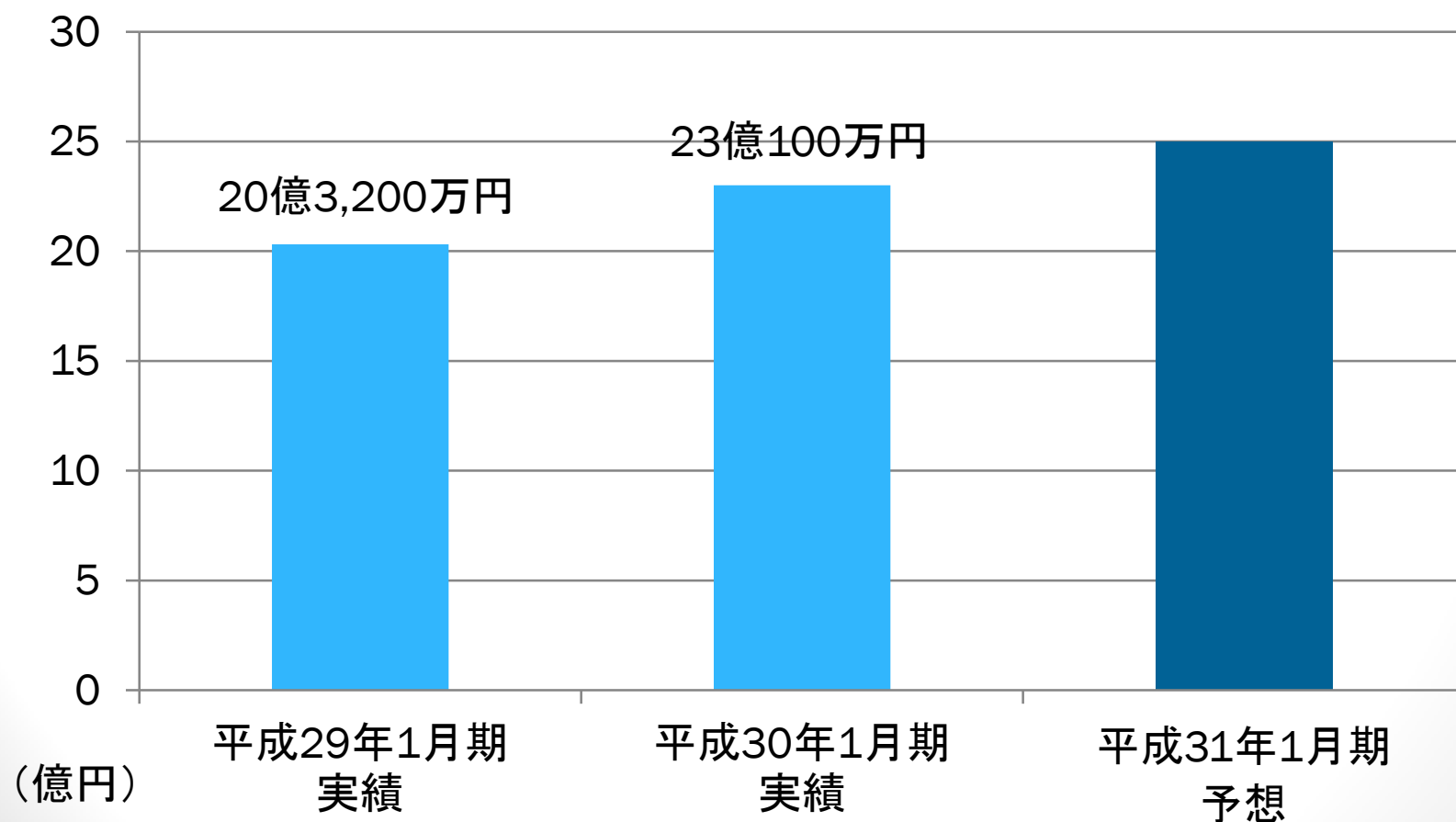
III. “人生100年時代”への学び事業の創造

売上高 1,750億円

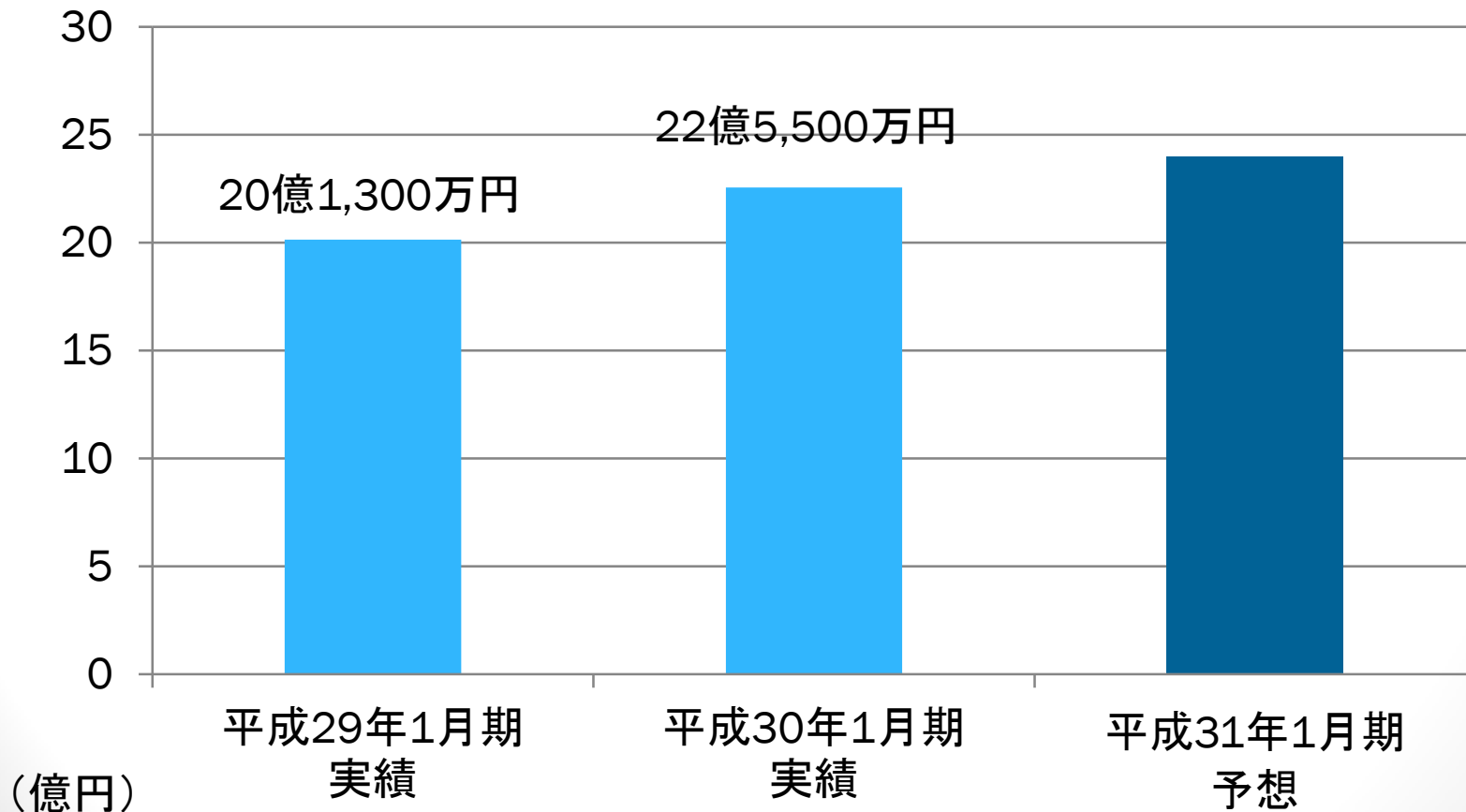
(対前年▲33億4,900万円)



営業利益 25億円 (対前年+1億9,900万円)

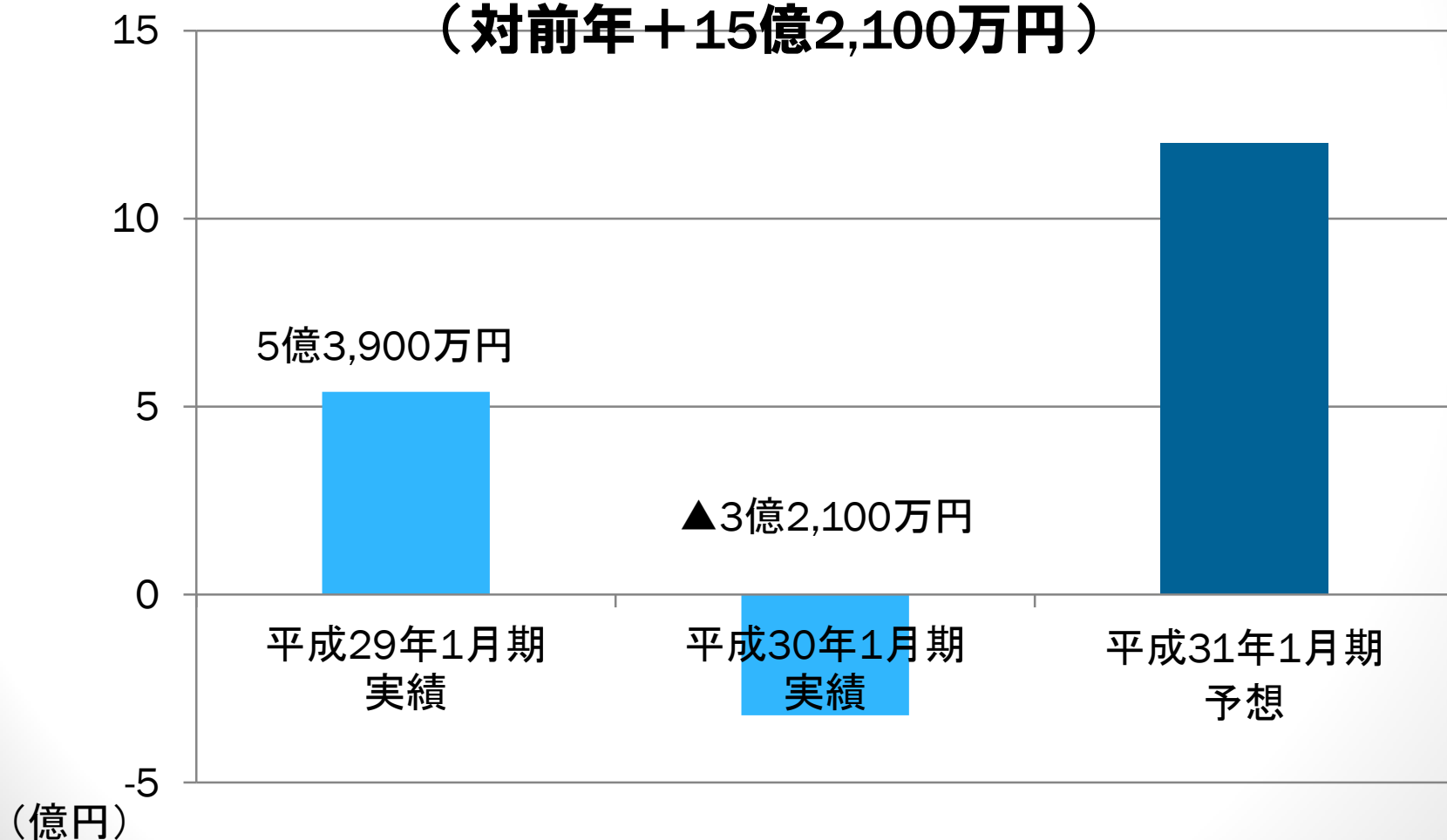


經常利益 24億円 (対前年+1億4,500万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 12億円

(対前年+15億2,100万円)



2019年 丸善は創業150周年

1869年創業の丸善は、来年150周年をむかえます。

丸善雄松堂、丸善ジュンク堂書店、丸善出版では、
様々な記念企画を検討しています。



未知をひらく、これからも。

150th



M MARUZEN

**以上、対処すべき課題について
ご説明申し上げます**

**今後ともご指導 ご鞭撻を賜りたく
宜しくお願い申し上げます**

第8期 定時株主総会

**本総会でご審議いただく
議案の概要 ご説明**

第1号議案

剰余金の処分の件

【参考書類：50ページ】

第2号議案

取締役

(監査等委員である取締役を除く)

6名選任の件

【参考書類：51ページ～55ページ】

第3号議案
監査等委員である
取締役
4名選任の件

【参考書類：56ページ～58ページ】

第8期 定時株主総会



MARUZEN CHI
Holdings